

2025 年 7 月 28 日
日本 C C S 調査株式会社

CO₂ 輸送実証試験における 液化 CO₂ 高流速液送技術検証設備の建設工事の着手について

2025 年 7 月 22 日、日本CCS調査株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:中島俊朗)は、当社を含む 4 社で共同受託している NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)「CO₂ 船舶輸送に関する技術開発および実証試験」^{*1}(以下「本事業」)の苫小牧基地において、液化 CO₂ 高流速液送技術検証設備の建設に着手しました。

本事業は、工場等からの排ガスから分離・回収された CO₂ を、CCUS を実施する地点へ安全に低コストで大量に輸送する手段の一つとして、CO₂ を最適な温度・圧力条件で液化、貯蔵、荷役、海上輸送する船舶一貫輸送システムの構築に必要な技術の研究開発・実証を行っているものです。

液化 CO₂ の 船舶輸送においては、船舶大型化のための低温・低圧化のみならず、輸送効率の向上を見据えた最適な荷役設備の設計・建設も必要となることから、今般、荷役時間の短縮および建設費削減のためのローディングアーム条数削減に資する流速値の検証を行うこととし、苫小牧基地において所要の設備建設に着手しました。

我が国では、2030 年の CCS 社会実装に向け、先進的 CCS 事業 9 案件が採択され、このうち 6 案件で国内外での船舶輸送が想定されており、CO₂ 輸送実証試験における液化 CO₂ の出荷・輸送・受入まで行う一貫輸送システムの確立に大きな期待が寄せられています。

当社は、共同受託者等と協力し、地元の皆様からのご理解やご支援をいただきながら、苫小牧基地と舞鶴基地の陸上施設(液化 CO₂ の貯蔵・荷役設備)の安全な運転と、本検証を通じて最適な流速の目安を確認いたします。

^{*1} NEDO 事業名:CCUS 研究開発・実証関連事業／苫小牧における CCUS 大規模実証試験／CO₂ 輸送に関する実証試験／CO₂ 船舶輸送に関する技術開発および実証試験

【検証場所・検証期間】

検証場所

CO₂ 輸送苫小牧事業所(苫小牧基地)

住 所:北海道苫小牧市真砂町 27-2 北海道電力株式会社苫小牧発電所内

検証期間

2025 年 7 月～2027 年 3 月(予定)

【本件に関するお問い合わせ先】

日本CCS調査株式会社 広報渉外部 担当:谷下田・梶岡

TEL: 03-6268-7610 email: info@japanccs.com

以上